



キク編



病害虫注意報 2021年2月号

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

ハダニ類・アザミウマ類の発生に注意しましょう！

ナミハダニ

- ▶ **発生適温** 20～30℃
ナミハダニの場合、25℃条件だと卵～成虫までの期間が約10日、1雌の産卵数は**100～200卵!**
- ▶ **湿度** やや**乾燥**
- ▶ **特徴**
繁殖力が高く、発育期間が短いため**薬剤感受性が低下した個体**が発生しやすい。



ナミハダニ



アザミウマ

アザミウマ

- ▶ **発生適温** 20～30℃
ミカキイロアザミウマの場合、卵～成虫までの期間が**20℃条件で約19日、30℃条件で約10日!**
- ▶ **特徴**
葉や花を食害する他、**キク茎えそ病、キクえそ病(ウイルス病)**を媒介する。

今月のおすすめローテーション



地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合があります。ご注意ください。さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。

※花き類・観葉植物登録

時期	対象病害虫	薬剤名	倍率	使用時期	回数
定植時	白さび病	予 inochioキクツチャ粒剤	6～9kg/10a (作条土壌混和)	定植時	1回
生育初期	白さび病	予 ジマンダイセンフロアブル	500～800倍	-	8回
	アブラムシ類・アザミウマ類 ハダニ類・フタバアザミウマ	トクチオン乳剤	1,000倍	発生初期	5回
消灯時	白さび病	予・治 トリフミン乳剤	1,000倍	-	5回
	アザミウマ類	ファインセーブフロアブル	2,000倍	発生初期	2回
発蕾時	白さび病	予・治 inochioオペラフラワー乳剤	2,000倍	発病初期	3回
	アブラムシ類・アザミウマ類・ハダニ類 ミカキイロアザミウマ・オオアザミウマ ミミキイロアザミウマ・ヨトウムシ類	コテツフロアブル	2,000倍	発生初期	2回
破蕾時	うどんこ病※・黒斑病※ 灰色かび病※・白さび病 アザミウマ類※・ハダニ類※	予・治 ポリオキシシAL水溶剤	2,500倍	発生・発病初期	8回
	アブラムシ類 アザミウマ類・ハダニ類	inochioセイレーンフロアブル	2,000倍	発生初期	3回

おすすめ資材

酸欠を防ぎ根の動きを促す!

NEW-SB酸素

初期の活着時や高温期に

灌水処理がお勧め!

5～10kg/10a

7～10日おき灌水処理



定植時におすすめ!

白さび病に抵抗する力を活性化!

inochio

キクツチャ粒剤

- ★有効成分がキクの抵抗性を誘導
- ★効果の持続性に優れる
- ★耐性菌が出にくい

適用病害: 白さび病 定植時 作条土壌混和/1回

使用量:
6～9kg/10a

